

北 岡 伸 一

東京大学大学院法学政治学研究科教授（日本政治外交史）

<略歴>

- 1971年 東京大学法学部卒業
- 1976年 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了
- 1976年 立教大学法学部専任講師
- 1978年 同 助教授
- 1985年 同 教授
- 1997年 東京大学法学部教授
- 2004年 特命全権大使（日本政府国連代表部次席代表）（～2006年9月）
- 2006年 東京大学法学部教授に復職、現在に至る

<主要著作・書籍>

- 『日本陸軍と大陸政策 1906～18年』（東京大学出版会、1978年）
- 『清沢冽 日米関係への洞察』（中央公論社、1987年）
- 『後藤新平 外交とヴィジョン』（中央公論社、1988年）
- 『日本政治史 外交と権力』（日本放送出版協会、1989年）
- 『国際化時代の政治指導』（中央公論社、1990年）
- 『日米関係のリアリズム』（中央公論社、1991年）
- 『政党政治の再生』（中央公論社、1995年）
- 『自民党 政権党の38年』（読売新聞社、1995年）
- 『戦後日本外交論集』（編著、中央公論社、1995年）
- 『日本の近代 第5巻 政党から軍部へ』（中央公論新社、1999年）
- 『「普通の国」へ』（中央公論新社、2000年）
- 『独立自尊 福沢諭吉の挑戦』（講談社、2002年）
- 『日本の自立 対米協調とアジア主義』（中央公論新社、2004年）
- 『清沢冽 外交評論の運命』増補版（中央公論新社、2004年）
- 『国連の政治力学 日本はどこにいるのか』（中公新書、2007年）

<受賞歴>

- 1986年 吉田茂賞（「対米外交の条件 清沢冽の日米関係観」『中央公論』1986年3月号）
- 1987年 サントリー学芸賞（『清沢冽』（中央公論社、1987年））
- 1992年 読売論壇賞（『日米関係のリアリズム』（中央公論社、1991年））
- 1995年 吉野作造賞（『自民党 政権党の38年』（読売新聞社、1995年））

<活動>

1996年－	日本国際交流センター「日独フォーラム」日本側委員
1997年－2001年	外務省「日中友好21世紀委員会」日本側委員
1999年5月－1999年7月	首相官邸「21世紀日本の構想」懇談会 第1分科会「世界に生きる日本」委員
2001年1月－2001年12月	外務省「日印21世紀賢人委員会」日本側委員
2001年9月－2002年11月	首相官邸「対外関係タスクフォース」委員
2002年8月－2003年8月	外務省「外交政策評価パネル」座長
2004年4月－2006年9月	外務省 特命全権大使（日本政府国連代表部次席大使）
2006年11月－2007年2月	首相官邸「国家安全保障に関する官邸機能強化会議」議員
2006年12月－現在	外務省「日中歴史共同研究」日本側委員座長
2007年5月－2008年5月	内閣官房「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」 有識者委員
2007年4月－現在	東京財団「外交・安全保障研究プログラム」上席研究員
2007年12月－2008年9月	首相官邸「外交政策勉強会」委員
2009年1月－2009年8月	内閣官房「安全保障と防衛政策を考える懇談会」委員
2009年11月－現在	外務省参与いわゆる「密約」問題に関する有識者会議座長
2009年12月－現在	財団法人世界平和研究所研究本部長